

各高等学校長 様

岩手県高等学校文化連盟放送専門部
専門部長 内 藤 賢 一
(岩手県立盛岡北高等学校長)

第 36 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 31 回岩手県高等学校放送新人大会の開催について(ご案内)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記のとおり標記大会を開催いたしますので、貴校 放送(視聴覚)部(委員会)等の大会参加についてご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 日時 平成 25 年 11 月 5 日(火) 14:00 ~ 17:00
平成 25 年 11 月 6 日(水) 9:00 ~ 16:50
ただしエントリー状況によっては 11 月 6 日(水)一日開催とします。
- 2 会場 岩手県民会館 中ホール他 〒020-0023 盛岡市内丸 13-1 電話 019-624-1171
- 3 要項等 別紙のとおり。エントリー締切は 10 月 16 日(水)正午。
参加申込書・各種様式等は、放送専門部のウェブサイトからダウンロードしてください。

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

- 4 その他 東日本大震災の被災地・被災者の参加料は無料とします。
被災地・被災者の判断は、各校の校長に一任します。

大会事務局

岩手県高文連放送専門部事務局

岩手県立盛岡北高等学校 田口キヨ

〒020-0173 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字牧野林 298-1

Fax.019-687-2280 ptf58-taguchi-kiyo@iwate-ed.jp

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

第 36 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 31 回岩手県高等学校放送新人大会 開催要項

1. 目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して 校内放送をとおり番組の制作技術の向上、表現力、創造性の開発および、豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。大会は、岩手県高等学校総合文化祭の一環、ならびに東北高等学校放送コンテストおよび全国高等学校総合文化祭放送部門の予選として実施する。

2. 主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3. 共催

株式会社テレビ岩手・株式会社 IBC 岩手放送

4. 主管

岩手県高等学校総合文化祭実行委員会・岩手県高等学校文化連盟放送専門部

5. 後援

岩手県高等学校長協会・岩手県高等学校教育研究会・盛岡市教育委員会・報道各社

6. 日時

平成 25 年 11 月 5 日(火) 14:00~17:00

平成 25 年 11 月 6 日(水) 9:00~16:50

エントリー状況によっては11/6の一日開催とすることがある。詳細は、後日参加校に送付する実施要項による。

7. 会場

岩手県民会館 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 13-1
電話 019-624-1171

8. 開催部門とエントリー数

- (1)アナウンス部門 各校 6 名以内
- (2)朗読部門 各校 6 名以内
- (3)オーディオピクチャー部門 各校 2 本以内
- (4)ビデオメッセージ部門 各校 2 本以内
- (5)ラジオキャンペーン部門 各校 2 本以内
- (6)テレビキャンペーン部門 各校 2 本以内

9. 審査員

専門職審査員および教育職審査員による。

10. 表彰と上位大会推薦

(1)アナウンス部門・朗読部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...

全国総文祭・東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)...

全国総文祭・東北大会推薦

優良賞 3 賞状...東北大会推薦

入選 6 賞状...東北大会推薦

(2)オーディオピクチャー部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国総文祭推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)

(3)ビデオメッセージ部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優良賞 2 賞状

全国総文祭推薦は、オーディオピクチャーの代表以外の上位 2 校とする

(4)ラジオキャンペーン・テレビキャンペーン部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)...東北大会推薦

優良賞 3 賞状...東北大会推薦

いずれの部門も、エントリー数によって表彰数を変更することがある。

11. 各種規定

制作・審査規定、各種様式等は別に定める。これらは放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。

12. エントリー手続き・提出物

別表の一覧のとおりとする。

エントリー後の変更は認めない。

13. その他

(1)この大会のために集められた個人情報(所属学校名、氏名、学年、性別、入賞者の成績)については、大会の実施、主催者に関連する記録物(印刷媒体、ウェブサイト、放送等)、大会成績の報道機関への提供以外には使用しない。

(2)使用著作物については、著作権隣接権を含め、権利者の許諾を得るとともに、制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3)応募された番組などは、放送等で公開されることがある。制作にあたっては、番組に登場する著作物の著作者や出演者、協力していただいた方々などから、公開の承諾を得ておくこと。

別表 手続一覧

	内容・方法	締切
エントリー 手続き	<p>参加申込書...メールで事務局に送付する。様式は放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。</p> <p>http://www2.iwate-ed.jp/housou/</p> <p>送付先: ptf58-taguchi-kiyo@iwate-ed.jp</p>	10月16日(水) 正午必着
	<p>参加料...各部門とも1エントリーにつき、1,000円。次の口座に学校名で振込むこと。</p> <p>岩手(いわて)銀行 上田(うへだ)支店 普通 2023372</p> <p>岩手県高等学校文化連盟放送専門部</p> <p>専門部長 内藤賢一(ないとうけんいち)</p> <p>振込手数料は各校負担、参加料の領収書は銀行発行のものとする。</p> <p>なお、東日本大震災の被災地・被災者の参加料は無料とします。被災地・被災者の判断は、各校の校長に一任します。</p>	
提出物	<p>全部門の原稿/台本各3部、オーディオピクチャー部門のCDとCD-ROM、ビデオメッセージ部門とテレビキャンペーン部門のDVD、ラジオキャンペーン部門のCD...事務局に郵便等で送付する。費用は各校負担。様式は、制作・審査規定を参照し、放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。エントリー番号は、後日発表される実施要項によること。</p> <p>http://www2.iwate-ed.jp/housou/</p> <p>送付先: 〒020-0173 岩手郡滝沢村滝沢字牧野林 298-1</p> <p>岩手県立盛岡北高校内 高文連放送専門部事務局 田口キヨ</p> <p>バックアップは当日代表生徒が持つこと。</p>	11月5日(火) 正午必着

上位大会等は次のとおり。以下に参加できない場合は新人大会にエントリーしないこと。

- ・第38回全国高等学校総合文化祭放送部門 平成26年7月30日(水)～31日(木) 茨城県日立市
- ・第17回東北高等学校放送コンテスト 平成26年2月8日(土)～9日(日) 宮城県仙台市
- ・アナウンス朗読講習会 平成25年12月23日(月) 岩手県民会館 アナ朗の東北大会進出者対象
- ・番組講習会 平成25年11月24日(日) 岩手県民会館 番組の東北大会進出校対象

理事ならびに引率顧問の皆様には、運営と審査を分担していただきます。

運営・審査をお願いする皆様には、当日の昼食を準備いたします。

実施要項(エントリー番号、係分担、日程の詳細等)は、エントリー確定後、連絡いたします。

第 31 回岩手県高等学校放送新人大会 制作・審査規定

1. アナウンス部門

(1)内容 次のア、イのいずれかの規定による。

ア 第61回NHK杯全国高校放送コンテスト：自校の校内放送に使用するものとし、原稿を生徒が自作したものに限る。

イ 第38回全国高等学校総合文化祭(茨城大会)：郷土の話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿。なお、新人大会と東北大会では、静止画は使用できない(全国総文祭ではXGA(1024×768ピクセル)のJPEG静止画5枚以内を投影できる)。

(2)規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)と氏名(学校名を読まない)を読むこととし、それらを含め、1分10秒以上1分30秒以内。

(3)原稿様式 次のア・イにより作成する。

ア 表紙は様式1-1 2ページ以降は様式1-2による。

イ 原稿の大きさはA4横を二つ折り・袋とじし、仕上りA5縦判・右2カ所留めで、3部作成する。

(4)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア 内容

(a)素材の選び方は適当であるか

(b)文章表現は適当であるか

イ アナウンスの技術

(a)自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5)予選

ア 出場者は、概ね30名ずつの会場に分かれて、エントリー番号順に発表を行う。

イ 各会場から上位計12名を決勝に推薦する。

2. 朗読部門

(1)内容 次のア、イのいずれかの規定による。いずれの場合も作品の改変は認めない。

ア 第61回NHK杯全国高校放送コンテストの指定候補作品の中から1編を選び、自己の表現したい部分を抽出して朗読する。

「地獄変・偷盗」芥川龍之介(新潮文庫、収録作品のいずれも可)

「残るは食欲」阿川佐和子(新潮文庫)

「神去なあなあ日常」三浦しをん(徳間文庫)

「怪談 - 不思議なことの物語と研究」ラフガディオ・ハーン著、平井呈一訳(岩波文庫、指定された訳者のみ、収録作品のいずれも可)

「平家物語」(現代語訳不可、出版社不問)

イ 第38回全国高等学校総合文化祭(茨城大会)の規定：それぞれの郷土にゆかりのある作家または作品。なお、BGMは使用できない(全国総文祭では効果音やBGMを併用できる)。

(2)規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)、氏名(学校名を読まない)、著者名(訳者名は読まない)、書名(ア・イは短編名)を読むこととし、それらを含め、1分30秒以上2分00秒以内。

(3)原稿様式 次のア・イにより作成する。

ア 表紙は様式1-1 2ページ以降は様式1-2による。

イ 原稿の大きさはA4横を二つ折り・袋とじし、仕上りA5縦判・右2カ所留めで、3部作成する。

(4)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア 内容

(a)作品の選定は適当であるか

(b)朗読として適切な部分を抽出しているか

イ 朗読の技術

(a)内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・
アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5)予選

ア 出場者は概ね30名ずつの会場に分かれて、エン
トリー番号順に発表を行う。

イ 各会場から上位計12名を決勝に推薦する。

3. オーディオピクチャー部門

(1)内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内
容。CDによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル
静止画像を併用する作品とする。ドキュメンタリー、
ドラマ等の手法は問わない。

(2)規定時間 5分以内

(3)音声制作様式 次のア～ケにより制作する。

ア CD-DA形式で作成したCDを提出する。バックアッ
プとして別の機材で制作した同じ内容を録音した
CDを大会当日持参すること。

イ CDとケースには、エントリー番号(エントリー確
定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校
名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は、ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認め
ない。

オ 本編の最後に「制作は 高等学校(放送部・委
員会)でした」のクレジットコールを入れる。

カ クレジットコールを含め、1つのトラックにま
とめる。なお、クレジットコールにはBGMや効果
音をつけないこと。

キ 計時は本編の最初の音から、終わりのクレジッ
トコールの「制作は 高等学校(放送部・委員会)
でした」の「た」の音までとする。

(4)静止画制作様式 次のア～オにより制作する。

ア CD-ROMに使用順の数字を付したJPEGファイル
を納める(例: 001.jpg 002.jpg …)。

イ CD-ROMとケースには、エントリー番号(エント
リー確定後に参加校に連絡する実施要項による)、
学校名とタイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 静止画像は25画像以内、総容量100MB以内、サ

イズはWXGA(1366×768ピクセル)またはXGA(1024
×768ピクセル)のいずれかで統一すること。

エ 静止画はパソコンからビデオプロジェクタ1台
で投影する。パソコンの操作は、発表校が行う。

オ 静止画の投影方法は次のとおり。

使用ソフト: Windows Picture and FAX Viewer
(Windows7ではWindowsフォトビューアーと読み
替える)

動作OS: Windows7/XP/Vista

使用方法

- ・CD-ROMのフォルダを開く
- ・1枚目の画像を右クリック 「プログラムから
開く」 「Windows Picture and FAX Viewer」
- ・1枚目の画像表示後「F11」キーを押す
- ・画面右上の「一時停止」マークを押す
- ・カーソルを画面外に動かして表示されないよう
にする
- ・「 」または「Enter」キーで次の画像に切り替
える
- ・終了時には「Esc」キーを押す
- ・Windows7/XP/Vista以外のOSの場合はSusieに
よること(www.digitalpad.co.jp/takechin/)

(5)番組進行表様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JISコードの範囲内の全角
15文字相当以内とする。

イ 表紙は様式2-1、CUEシートは様式2-2による。

ウ 様式2-3の使用著作物一覧、様式2-4の音源使
用許諾申請書を付す。他の著作物を使用していな
い場合は、いずれにも「なし」と記載する。

エ 他の著作物を使用した場合は、末尾に、JASRAC
の明細書、フリー音源であることを示すレーベル
のコピー、その他使用したすべての著作物につい
て、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを付
す。

オ 仕上りA4縦判・左上1カ所留めで、3部作成す
る。

(6)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点
する。

ア テーマ

・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め

番組内容にテーマを効果的に表現しているか

- ・ラジオと静止画の特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

- ・録音・撮影の技術
- ・アナウンスやナレーションの技術
- ・音楽や効果音の使い方など

4. ビデオメッセージ部門

(1)内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。

(2)規定時間 5分以内

(3)制作様式 次のア～カにより制作する。

ア DVD-Video形式で作成したDVDを提出する。NTSC規格4:3または16:9のいずれか。バックアップとして同じ内容を録画したDVDを大会当日持参すること。バックアップは、審査用とは別の機材等で制作することが望ましい。なお、全国総文祭ではBD-Rで提出することができる。

イ DVDとケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 音声の再生は、ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の前後に5秒間ずつ、様式3のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。なお、全国総文祭ではテストパターンは10秒間である。

カ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの最初までとする。

(4)番組進行表様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ 表紙は様式2-1、CUEシートは様式2-2による。

ウ 様式2-3の使用著作物一覧、様式2-4の音源使用許諾申請書を付す。他の著作物を使用していない場合は、いずれにも「なし」と記載する。

エ 他の著作物を使用した場合は、末尾に、JASRACの明細書、フリー音源であることを示すレーベルのコピー、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを付す。

オ 仕上りA4縦判・左上1カ所留めで、3部作成する。

(5)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

- ・撮影・録音の技術
- ・アナウンスやナレーションの技術
- ・音楽や効果音の使い方など

5. ラジオキャンペーン部門

(1)内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード 「Forward～前へ」

(3)規定時間 30秒以上1分以内

(4)制作様式 次のア～ケにより制作する。

ア CD-DA形式で作成したCDを提出する。バックアッ

プとして同じ内容を録画したCDを大会当日持参すること。バックアップは、審査用とは別の機材等で制作することが望ましい。

イ CD とケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は、ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 最初に「ラジオキャンペーン部門」「タイトル」の順でクレジットコールを入れたのち、3秒後に本編を開始する。

カ 本編の最後の音から3秒後に「制作は 高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

キ 前後のクレジットコールを含め、1つのトラックにまとめる。なお、クレジットコールにはBGMや効果音をつけないこと。

ク 計時は本編の最初の音から、終わりのクレジットコールの「制作は 高等学校(放送部・委員会)でした」の「せ」の音までとし、その計測値から3秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。

(5)番組進行表様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ 表紙は様式2-1、CUEシートは様式2-2による。

ウ 様式2-3の使用著作物一覧、様式2-4の音源使用許諾申請書を付す。他の著作物を使用していない場合は、いずれにも「なし」と記載する。

エ 他の著作物を使用した場合は、末尾に、JASRACの明細書、フリー音源であることを示すレーベルのコピー、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを付す。

オ 仕上りA4縦判・左上1カ所留めで、3部作成する。

(6)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

・指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマ

を効果的に表現しているか

・ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

6. テレビキャンペーン部門

(1)内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード 「Forward ~ 前へ」

(3)規定時間 30秒以上1分以内

(4)制作様式 次のア～カにより制作する。

ア DVD-Video形式で作成したDVDを提出する。NTSC規格4:3または16:9のいずれか。バックアップとして同じ内容を録画したDVDを大会当日持参すること。バックアップは、審査用とは別の機材等で制作することが望ましい。

イ DVD とケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 音声の再生は、ステレオで行う。なお、東北大会ではモノラル再生である。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の前後に5秒間ずつ、様式3のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終

わりのテストパターンの最初までとする。

(5) 番組進行表様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 2-1、CUE シートは様式 2-2 による。

ウ 様式 2-3 の使用著作物一覧、様式 2-4 の音源使用許諾申請書を付す。他の著作物を使用していない場合は、いずれにも「なし」と記載する。

エ 他の著作物を使用した場合は、末尾に、JASRAC の明細書、フリー音源であることを示すレーベルのコピー、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを付す。

オ 仕上り A4 縦判・左上 1 カ所留めで、3 部作成する。

(6) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

・指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a) 制作の手法

(b) 取材の方法や努力

(c) 企画構成

(d) 演出・編集

(e) 技術

・撮影や録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

7. 審査員(全部門共通)

専門職審査員と教育職審査員の 5 名以上で行う。

8. 採点・講評(全部門共通)

(1) 部門の「審査の視点」に基づき、100 点法、1 点刻みで総合的に採点する。

(2) 採点のめやすは次のとおりとする。

20 30 40 50 60 70 80 90 100

悪い 普通 良い 大変良い

(3) 各審査員は、得点一覧を、会場ごとに定める審査主査に提出する。

(4) 各審査員は、すべての発表ごとに、講評を記載する。

9. 得点集計および順位(全部門共通。岩手県高文連放送専門部の規定)

(1) 得点集計と順位

審査員の最低点を除いた合計点の高い順に順位を決定する(東北大会では最高点も除いた合計点を用いる)。

(2) 順位決定の特例

合計点と同じ場合は、カットされた得点の高い方を上位とする。

(3) 審査会

最終的な順位決定は、部門ごとの審査主査と専門職審査員による審査会で行う。ただし、予選については、審査主査に一任する。

10. アナウンス部門・朗読部門決勝

(1) 決勝進出者は決勝審査直前に中ホールで発表する。

(2) 決勝のエントリー順は、無作為に指定する。

(3) 決勝審査では、予選の得点を参考にしない。

11. 規定違反(全部門共通)

(1) 規定違反は審査の対象としない。なお、重大な違反が判明した場合は、大会後においても賞を取り消すことがある。

(2) 計時の許容範囲は、アナウンス部門と朗読部門は±2 秒、番組 4 部門は±1 秒とする。

(3) アナウンス部門と朗読部門の決勝の規定時間違反に限り、失格とせず決勝進出のうちの最下位とする。

12. 講評・審査結果一覧(全部門共通)

(1) 講評用紙は、各校に配付する。

(2) CD・DVD 等は、該当校に返却する。

(3) 審査結果一覧は、顧問に配付する。